

令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科： 地理歴史科 科目： 地理総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者： （1 組： 本田有理） （2 組： 本田有理） （3 組： 本田有理） （4 組： 本田有理） （5 組： 本田有理）
 使用教科書： （ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

- 教科 地理歴史科 の目標：
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連に対して自ら疑問を持ち、主体的に調べる意欲を育てる。

科目 地理総合 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通し、日本の諸地域の地形や産業への理解、問題提起、日本文化だけではなく世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
<p>A 生活文化の多様性</p> <p>【知識及び技能】 世界各地の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界各地の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 世界の国名の確認 用語の整理、理解 身近な異文化理解の例を挙げさせる</p> <p>・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 統計資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用</p>	<p>【知識・技能】 生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。また、自他文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>B 世界の地形と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 人々は地形とどのように関わり合っているのか、世界各地ではどのような生活が営まれているのかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人々は地形とどのように関わり合っているのか、世界各地ではどのような生活が営まれているのか多様性や変容の要因などを考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々は地形とどのように関わり合っているのか、世界各地ではどのような生活が営まれているのか主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 用語の整理、理解 地形図の利用 空中写真の見方</p> <p>・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 統計資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用</p>	<p>【知識・技能】 地形をつくる営力、変動帯のプレート境界、地震・火山、安定地域の平野と山地、河川、海岸、氷河がつくる地形と生活への影響について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地形をつくる営力、変動帯のプレート境界、地震・火山、安定地域の平野と山地、河川、海岸、氷河がつくる地形と生活への影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形をつくる営力、変動帯のプレート境界、地震・火山、安定地域の平野と山地、河川、海岸、氷河がつくる地形と生活への影響についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>1 学期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1
<p>C 世界の気候と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 気温や降水、風などの気候要素と人々の生活について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 気温や降水、風などの気候要素と人々の生活について、多様性や変容の要因などを考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 気温や降水、風などの気候要素と人々の生活について、主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 用語の整理、理解 ケッペンの気候区分資料の確認 雨温図、ハイサーグラフ、気温グラフなどの読み解き 写真資料の読み取り方（気候・生活文化）</p> <p>・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 統計資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用</p>	<p>【知識・技能】 ケッペンの気候区分、気温、降水、大気大循環、恒常風、季節風、植生について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ケッペンの気候区分、気温、降水、大気大循環、恒常風、季節風、植生について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ケッペンの気候区分、気温、降水、大気大循環、恒常風、季節風、植生について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>D 宗教1・2</p> <p>世界の宗教と人々の生活の関わり</p> <p>【知識及び技能】 世界宗教と呼ばれる教えを信仰する地域の生活文化は、それぞれ宗教からどのような影響を受けているのかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界宗教と呼ばれる教えを信仰する地域の生活文化は、それぞれ宗教からどのような影響を受けているのか、多様性や変容の要因などを考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界宗教と呼ばれる教えを信仰する地域の生活文化は、それぞれ宗教からどのような影響を受けているのか、主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 用語の整理、理解 宗教の分布確認 宗派による違いの確認 生活文化の共通項や相違を確認 現代における生活の変化の確認</p> <p>・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等 各宗教による建物や服装、食文化の違いや共通項を写真や動画で確認 探求学習</p>	<p>【知識・技能】 ユダヤ教徒、キリスト教徒、ムスリム、仏教徒、ヒンドゥー教徒の生活や暮らし、自然や地域との関わり方とその歴史、現代における教えや生活文化の変化を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 ユダヤ教徒、キリスト教徒、ムスリム、仏教徒、ヒンドゥー教徒の生活や暮らし、自然や地域との関わり方とその歴史、現代における教えや生活文化の変化を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ユダヤ教徒、キリスト教徒、ムスリム、仏教徒、ヒンドゥー教徒の生活や暮らし、自然や地域との関わり方とその歴史、現代における教えや生活文化の変化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	E 歴史的背景と人々の生活 追及事例：ラテンアメリカ・アフリカ・ロシア 【知識及び技能】 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化を、歴史的背景から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化を、歴史的背景をもとに、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化を、歴史的背景をもとに、主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 用語の整理、理解 帝国主義時代の植民地支配を受けていた国の理解 移民の歴史について確認 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 生活文化に影響した歴史的背景（移民の歴史、植民地支配の前後の歴史、革命の歴史）、冷戦時代の体制が生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 生活文化に影響した歴史的背景（移民の歴史、植民地支配の前後の歴史、革命の歴史）、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化に影響した歴史的背景（移民の歴史、植民地支配の前後の歴史、革命の歴史）、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	F 世界の産業と人々の生活 追及事例：アメリカ合衆国・東アジア・ヨーロッパ 【知識及び技能】 産業の発展による影響や、産業のグローバル化による変化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業の発展による影響や、産業のグローバル化によって生活はどのように変化した、どのような課題があるのか、解決策はあるのかを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのか、また産業のグローバル化によって、生活はどのように変化した、どのような課題があるのか、解決策はあるのか、主体的に研究、探求する態度を養う。	・指導事項 用語の整理、理解 アメリカ合衆国の農業・産業・資源・移民の力について 東アジア（中国・韓国・インド）の経済成長とその歩み EU統合による農業・工業・社会への影響 白地図による地域の特徴のまとめ方 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 農業の発展、生産性や近代化とその課題についての理解、工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差についての理解、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について理解している。 【思考・判断・表現】 農業の発展、生産性や近代化とその課題についての理解、工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差についての理解、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業の発展、生産性や近代化とその課題についての理解、工業の発達と生活の変化、工業地域の地域差についての理解、企業活動のグローバル化と人々の生活への影響、脱工業化社会と人々の生活について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	G 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、都市問題を基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、都市問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 用語の整理、理解 SDGsについて 関係図によるまとめ方 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。	○	○	○	7
2 学 期	H 地図と地理情報システム 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。地理情報について、地図や地理情報システムを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 用語の整理・理解 地理情報システム（GIS）の活用の仕方 地形図の利用 等値線図の作り方 階級区分図の作り方 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界の地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 用語の整理・理解 統計資料の活用の仕方 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	J 自然環境と防災 【知識及び技能】 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。ハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 用語の整理・理解 ハザードマップの見方 防災発生時の行動計画の立て方 ・教材 教科書 地図帳 自作プリント ICT教材 ・一人1台端末の活用 等 探求学習 統計資料作成など Googleマップ等の活用	【知識・技能】 我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそとみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	9
3 学 期	定期考査			○	○		1
	合計						70

令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：富澤正人）（2組：富澤正人）（3組：富澤正人）（4組：富澤正人）（5組：富澤正人）（組： ）
 使用教科書：（高等学校 新歴史総合（第一学習社））

教科 地理歴史 の目標：
 【知識及び技能】 現代の課題の形成に関わる歴史を理解し、自ら調べ、まとめることができる。
 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察し、それを説明することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題等に対して意欲的に臨むことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそ の中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課 題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資 料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ まとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色など を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見 られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論し たりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい 社会の実現を視野に課題を主体的に追究するために、また 解決しようとする態度を養うための学習課題等に意欲的 に臨むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配 当 時 数
				知	思	態	
1 学 期	A 単元：歴史の扉 【知識及び技能】 私たちの生活が日本や世界の歴史とつなが っていることを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの生活が世界の歴史との関連性につ いて考察し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 私たちの生活が日本や世界の歴史とつながっていること を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの生活が世界の歴史との関連性について考察し、 表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	2
	B 単元：近現代の世界と日本 【知識及び技能】 遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史 が叙述されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から読み取った情報の意味や意義、特 色などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述され ていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察 し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元：帝国主義とアジア諸国の変容 【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の 開港と日本の開国などを基に、工業化と世界 市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国と欧米諸国との関係の変容など を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の 開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角 的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に 主体的に取り組む。	○	○	○	6
2 学 期	D 単元：近代化と現代的な諸課題 【知識及び技能】 自由・制限、平等・格差、対立・協調など の観点から現代的な諸課題の形成に関わる近 代化の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比 較したり、多面的・多角的に考察し、表現す る。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 自由・制限、平等・格差、対立・協調などの観点から現 代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、多 面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	E 単元：国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 米国の連、植民地の独立、大衆の政治的 変化などをまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会 の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 米国の連、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社 会的地位の変化などをまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について 考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に 主体的に取り組む。	○	○	○	6
	F 単元：第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、総力戦と第一次 世界大戦後の国際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が 大戦後の世界に与えた影響などを多面的・多 角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、総力戦と第一次世界大戦後の国 際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界 に与えた影響などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	G 単元：経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対 外政策などを、国際協調体制の動揺を理 解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応、国際協調体制 の動揺の要因などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを、 国際協調体制の動揺を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各国の世界恐慌への対応、国際協調体制の動揺の要因な どを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	6
	H 単元：第二次世界大戦後の世界と日本 【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序 の変化や大衆化の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の背景や原因、結果や影響などに着 目して、主題について多面的・多角的に 考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決し たりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化 の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題に ついて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動 に主体的に取り組む。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当：(2100組：菅原) (2200組：菅原) (2300組：菅原) (2400組：菅原) (2500組：菅原) (組：)

使用教科書：(高等学校 新公共(第一学習社))

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を考察するために、選択・判断の手がかりとなる考え方や基本的原理を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題に向けて、多面的・多角的に考察し判断する力や議論する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を当事者意識を持って、主体的に解決しようとする態度を身に付ける。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりする。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを考察する。	・指導事項 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして ・教材 教科書、スライド、自作プリント、	【知識・技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。	○	○	○	6
B 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査	・指導事項 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 選択・判断の手がかりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの	○	○	○	4
C 公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考	・指導事項 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本的原理 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して考	○	○	○	5
D 法や規範の意義と役割 【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・基本的な権利の保障について理解し、法律とどのような関係にあるか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・基本的人権の保障について理解し、法律とどのような関係にあるか理解している。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	9
E 契約と消費者の権利・責任 【知識及び技能】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・契約と消費者問題について、自分自身の問題として理解し、知識を身につける。	・指導事項 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・契約と消費者問題について、自分自身の問題として理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	4
F 司法参加の意義 【知識及び技能】 司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・裁判所の役割や裁判員制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 政治分野の国会・内閣のしくみとも	・指導事項 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加 ・教材 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・裁判所の役割や裁判員制度について理解している。 【思考・判断・表現】 政治分野の国会・内閣のしくみとも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多	○	○	○	3
G 政治参加と公正な世論形成 【知識及び技能】 政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・議院内閣制や国会・内閣の現状と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 定期考査	・指導事項 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉 ・教材	【知識・技能】 政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・議院内閣制や国会・内閣の現状と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

2 学 期	H 国際社会と国家主権 【知識及び技能】 ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・国際法の意義と役割について理解する。 ・国際連合の役割と課題について理解する。	・指導事項 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・国際法の意義と役割について理解している。 ・国際連合の役割と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 国際社会の特徴と課題について、幸福、正義、	○	○	○	5
	I 日本の安全保障と防衛 【知識及び技能】 ・日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・自衛隊、日本の安全保障については、様々な立場からの意見があることを理解する。 ・核軍縮の取り組みについて理解	・指導事項 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障体制の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・日本の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・自衛隊、日本の安全保障については、様々な立場からの意見があることを理解している。 ・核軍縮の取り組みについて理解し、廃絶のために必要なことを理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	5
	J 国際社会の変化と日本の役割 【知識及び技能】 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・冷戦終結後の国際社会の変化や現状について理解する。 ・人種・民族問題と地域紛争の実	・指導事項 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・冷戦終結後の国際社会の変化や現状について理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題について理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	5
	K 雇用と労働問題 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・経済の基本的なしくみや考え方を理解する。 ・労働に関わる法や権利を理解する。	・指導事項 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・経済の基本的なしくみや考え方を理解している。 ・労働に関わる法や権利を理解している。 ・雇用事情の変化と様々な労働問題を理解し、問題を解決するための取り組みを理解してい	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	L 社会の変化と職業観 【知識及び技能】 ・技術革新の進展による産業構造や生活の変化について理解する。 ・企業のはたらきと社会的責任について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史や情報など他教科で学んだ知識	・指導事項 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・技術革新の進展による産業構造や生活の変化について理解している。 ・企業のはたらきと社会的責任について理解している。 【思考・判断・表現】 歴史や情報など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多	○	○	○	7
	M 市場経済の機能と限界 【知識及び技能】 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・経済における政府の関わり方を理解する。 ・市場の基本である需要と供給との関係について理解する。	・指導事項 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・経済における政府の関わり方を理解している。 ・市場の基本である需要と供給との関係について理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7
	N 金融のはたらき 【知識及び技能】 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・金融機関の役割と金融政策、金融における技術革新について、生活との関わりをなかで理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ①金融の意義と役割 ②金融のいま ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・金融機関の役割と金融政策、金融における技術革新について、生活との関わりをなかで理解している。 【思考・判断・表現】 家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	3 学 期	O 財政の役割と社会保障 【知識及び技能】 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を理解する。 ・社会保障の意義やしくみ、日本の社会保障制度の課題を理解する。	・指導事項 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を理解している。 ・社会保障の意義やしくみ、日本の社会保障制度の課題を理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○
P 経済のグローバル化 【知識及び技能】 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・貿易の必要性や自由貿易と保護貿易の違いを理解する。 ・円高・円安のしくみと影響について具体的に理解する。		・指導事項 ①国際分業と貿易 ②国際収支と国際経済体制 ③外国為替相場の動き ④グローバル化する経済 ⑤地域的経済統合 ⑥国際社会における貧困や格差 ⑦地球環境問題 ・教材	【知識・技能】 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・貿易の必要性や自由貿易と保護貿易の違いを理解している。 ・円高・円安のしくみと影響について具体的に理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	11
定期考査				○	○		1
Q 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解する。	・指導事項(例) ①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報	【知識・技能】 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題に関して、これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考・判断・表現】 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画	○	○	○	7	
合計							105

令和8年度（3学年用）教科 地理歴史 科目 江戸から東京へ

教科：地理歴史 科目：江戸から東京へ 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 1組～5組
 教科担当者：（1組：富澤正人）（2組：富澤正人）（3組：富澤正人）（4組：富澤正人）（5組：富澤正人）
 使用教科書：（なし）

教科 地理歴史 の目標：
 【知識及び技能】 現代の課題の形成に関わる歴史を理解し、自ら調べ、まとめることができる。
 【思考・判断・表現】 歴史的事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察し、それを説明することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題等に対して意欲的に臨むことができる。

科目 江戸から東京へ の目標：	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	江戸期から現代への歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	江戸期から東京への近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究するために、また解決しようとする態度を養うための学習課題等に意欲的に臨むことができる。	

学級	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・日本と世界の平和への取り組みを知る。 ・日本の原子力政策とその課題について学ぶ。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	10
	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・明治期～大正期にかけての日本の課題とは何か。 ・軍事面、経済面、政治面、文化面から考える。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
2 学期	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・関東大震災について、自然科学、政治、被害、社会状況などを多面的に考察する。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・パンデミックについて学ぶ。 ・江戸期から現代にかけてのはしか、天然痘、スペイン風邪、サース、新型コロナ等について、政治、経済、社会等、多面的・多角的に学ぶ。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
3 学期	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・江戸期から平成にかけての諸文化について学ぶ。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
	・私たちの生活が日本や世界とつながっていることを知る。 ・私たちの生活と歴史との関連性について考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組むことができる。	・江戸期から平成にかけての諸文化について学ぶ。 ・自ら2つの事象・事象を選択し、レポートにまとめ、発表する。	【知識・技能】 日本や世界とのつながりを理解する。 【思考・判断・表現】 生活と歴史との関連性を考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追及する活動に主体的に取り組む。	○	○	○	12
							合計
							70

令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 社会

教科：地理歴史 科目：社会 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 1組～5組
教科担当者：（1組：本田有理）（2組：本田有理）（3組：本田有理）（4組：本田有理）（5組：本田有理）
使用教科書：（なし）
教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

Table with 3 columns: 科目 (社会), 目標 (知識・技能, 思考・判断・表現, 主体的に学習に取り組む態度), and content details.

Main table with 8 columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 評価規準, 知, 思, 態, 配当数. It lists 12 units across 3 semesters.